
塩山北中学区ブロック交流研究会

「塩山北中学区の子どもたちを育てるために小中の連携をはかろう」

I 主題設定の理由

塩山北中学区ブロックでは、「地域の子どもは地域で育てる」という考えのもと、各地域の様子や子どもたちの実態を知る上で、大藤小・玉宮小・神金小の3校の小学校と塩山北中学校が連携を密にすることをこれまでも重視してきた。本年度も今までの研究を土台として、学習内容や児童の様子、学習規律、家庭学習の仕方などの情報交換や授業参観及び体験を通して、更に児童・生徒を育てる環境を小中が連携して進化させていこうという考えから、本主題を設定した。

II 研究の具体的な内容

1 第1回ブロック交流研究会（臨地研修：玉宮小学校の地域学習を体験）

- (1) 日時 平成29年8月4日（金） 午後1時30分～16:30
- (2) 場所 玉宮水神池自然公園（玉宮小校区内）
- (3) 内容 玉宮小学校で講師をしていただいている長田義巳さんをお招きして自然学習会及び、自然体験を行った。

「自然学習会」

- ・玉宮水神池自然公園をつくった経緯の話。
- ・昆虫や植物の見分け方、捕まえ方の説明。
- ・図鑑の活かし方の話。

「自然体験」（玉宮小児童がしている自然体験を実際に体験する）

- ・虫取り網、魚とり用網を使って昆虫やメダカをとる。
- ・活動後、長田さんに解説していただきながらみんなが捕った昆虫を使って振り返りを行う。

2 第2回ブロック交流研究会

- (1) 日時 平成29年11月22日（水）
- (2) 場所 神金小学校体育館
- (3) 内容 「神金シンポジウム」の参観

神金小学校で進められてきた地域学習の発表会「神金シンポジウム」を参観し、塩山北中校区にある神金地域のよさをみんなで共有化する。

また、小学校3校で行われている地域学習の様子を中学校の先生方に知っていただくことで、小中の連携を図る。

3 第3回ブロック交流研究会

(1) 日時 平成30年1月17日(水)

(2) 場所 塩山北中学校

(3) 内容 ア 授業参観

・1年(数学)2年(音楽)3年(道徳)の授業公開

イ 家庭学習スタンバイの参観

・塩山北中学校で行われている家庭学習スタンバイの様子を参観し、そのやり方を小学校の先生方が学ぶ。

ウ 研究会

・本日の授業について

・各校の家庭学習のやり方について

・本日の研究も含め、小中の連携に関する意見交換

III 成果と課題

1 成果

- ・塩山北中学校で行われている家庭学習スタンバイのやり方を小学校が取り入れたり中学校の授業に必要な小学校でつけておいてほしい学力などの具体的な点についてまで情報交換をしたり、小中の連携を更に前進させることができた。
- ・昨年度から始まった中学校の先生方による小学校での出前授業に加え、テレビ会議システムを使っての理科授業の提供など、6年生が中学生になる不安解消の取り組みが進展している。
- ・講師を招いて小学校で行っている地域学習を体験してもらったり、児童が学んできた地域学習の発表を聞く機会を設けたりしたことにより、各小学校で行われている地域学習について他の小学校や中学校の先生方に知っていただく機会となった。

2 課題

- ・年々様々な形で小中の連携が具体的に進んできているので、来年度以降も継続・発展させていく。
- ・授業のやり方など小中の連携可能な分野を更に模索し、情報交換を密に行うことにより、小中の距離を更に縮めていく。
- ・情報交換の内容が深まってきているので、協議する時に具体的なテーマを設けて、みんなでそのことについて掘り下げる場としていきたい。
- ・児童・生徒の具体的な様子に対する小中での対応の仕方についても話題にしていきたい。

IV 研究方法の工夫

- ・夏の研修会では、玉宮小児童が授業で行っている自然観察を実際に体験していただき、児童の気持ちや指導の仕方を身に付けられるように心がけた。
- ・地域の方々と一緒に神金小児童の地域学習の発表を聞き、地域や地域学習の良さを共有できるようにした。
- ・中学校で行われている家庭学習スタンバイを実際に全教員が見る機会を設け、やり方の認識を共有できるようにした。
- ・情報交換の時間を十分に設け、多くの人が発言し小中連携が図られるように心がけた。

(ブロック長 古屋 岳治)